

「インクルーシブ 教育システム について考える」

～医師からの視点・教育現場からの視点・教員・保育士養成校からの視点～

インクルーシブ教育とは「障害の有無に関係なく誰でも地域の学校で学べるような教育」を指します

個別のニーズのある幼児・児童・生徒に対して、自立と社会参加を見据えて的確に応える指導を提供出来る、多様で柔軟な仕組みを整備し、連続性のある「多様な学びの場」を用意することが必要であるとされています

話題 提供者

小沢 浩氏 (島田療育センターはちおうじ 所長)

「奇跡がくれた宝物～いのちの授業～」

朝日 滋也氏 (東京都立永福学園 校長)

「特別支援学校の現状と課題～多様な学びの場の一つとして～」

羽田 紘一氏 (有明教育芸術短期大学 副学長)

「専門職を養成するということ」

コーディネーター

杵鞭 広美氏 (有明教育芸術短期大学 准教授)

子どもの発達支援に関心のある方はどなたでも参加できます
皆様のご参加をお待ちしております

日時：2014年10月4日(土) 13:30～16:00

場所：有明教育芸術短期大学 301 教室

参加費：無料

連絡先：有明教育芸術短期大学

Tell : 03 (5579) 6211 E mail : info@ariake.ac.jp

後援：江東区・江東区教育委員会